

# 新潟県剣道連盟会報

第 105 号

令和元年 8 月吉日

発行

新潟県剣道連盟

事務局 〒950-0982

新潟市中央区堀之内南 3-1-21

北陽ビル 2 階

TEL 025-384-4784

FAX 025-384-4794

http://niigata-kenren.com

## 令和元年の 新体制にあたって

一般財団法人 新潟県剣道連盟

会長 浅原 行雄



新剣連会員各位におかれましては健勝にてご活躍のことと思います。

この度、法人設立後、三代目の会長に選任され戸惑いながらも務めて参りたいと思っております。『浅学非才』が当て嵌まる私ではありますが、各委員会の理事の皆様を始め、加藤専務理事、新任の赤塚常務理事、新任の瀬賀事務局長の力を最大限に頂きながら会員、剣友の皆様のご期待に出来るだけ応えるように推し進めて行きたいと思っております。

会員皆様の協力無くして前に進めません。今まで以上に宜しくお願い致します。元号も5月1日を以って令和元年に変わり、何か清々しく感じるのには私だけでしょうか。次世代に相応しい元号と思っております。

さて、少子化問題で剣道人口の幼少年少女の激減は正念場を迎えています。小中高生の剣道の継続化の進め方

等々難しいところですが知恵を出し合いながら少しでも前に進めたいと思っております。

昨年は北信越国体予選ではあと一歩のところまで出場権を逃がす悔しい思いを致しました。是非とも強化委員会スタッフを先頭に茨城国体に臨んでいただきたいと思えます。和歌山県で行われるねりんピック剣道大会も大いに期待をしております。

また、本年12月1日、上越市にオープンする新潟県立武道館『愛称 謙信公武道館』にて同月22日に県では初の



建設中の県立武道館

少年剣道の全国大会を開催する運びとなっております。(一財)全日本剣道連盟主催 第37回全国道場対抗剣道大会、並びに全国道場少年剣道選手権大会が新潟県剣道連盟の主管で開催します。

全国の予選を勝ち抜いた優秀な少年少女剣士が集います。どうか会場に足をお運び頂いて地元剣士の小、中学生を含む一般選手の熱戦に期待してください。

結びになりますが事業、予算共に慎重審議され決定された事項に基づき粛々と進めて参ります。私を筆頭に未経験なポスト就任者が多いかと思えますが、一丸となって負託に応えられる様に努めていきたいと思えます。会員各位には重ねてご協力をお願い申し上げます。新任の挨拶とさせていただきます。

## 新体制スタートに当たって

専務理事 加藤 治



本年度役員改選にあたり浅原新会長をはじめ新たに二十名の新理事・役員を迎え、令和元年度・二年度の剣道連がスタート

たしました。さてみなさんにとって剣道とは何でしょうか。

「剣道とは、刀を手にし、方便に従い相手を前におき、仮に勝負を論じ真の 自己の 今の このの 精一杯のはたらきを鍛錬し人生を創造することである」

これは、一八九九年永平寺で出家し「移動憎堂」、「宿無し興道」と称され、「何にもならんもののためにただ坐る」という只管打坐を貫き、その一生を通じて実践して見せた澤木興道が剣道を看破した言葉です。

新剣連では、一昨年度から少子高齢化に対応するため「県道場連盟」・「県



「夢」村嶋恒徳

**新剣連 令和元年度  
定時評議員会**

高齡剣友会」を加盟団体扱いとしました。道場連盟・中体連・高体連・高齡剣友会とそれぞれの年代の核となる組織との連携をさらに密に行き、新剣連の抱える課題解決に取り組んでいきます。

競技性と文化性を併せ持つ豊かな運動文化である剣道を次の世代に伝えていく視点に立ち、各委員会での積み上げを通して、充実した事業の展開に努めていきたいと考えています。今までの以上のご理解とご協力をお願い致します。

期日 令和元年 5 月 19 日

会場 新潟市江南区亀田市民会館

- 1 開会宣言 事務局長 瀬賀 忠治
- 2 会長挨拶 会長 本間厚太郎
- 3 功労者表彰  
直江津東中 長谷川大雅さん  
第48回全国中学校剣道大会男子個人戦の部第3位(ご本人欠席のため、上越 久保田幸正理事代理にて受領)
- 4 審議事項  
(1) 平成30年度事業報告及び平成30年度収支決算書(案)について  
ア 加藤専務理事 配布資料「平成30年度事業報告及び実施細目について説明」  
イ 荻莊常務理事 配布資料「平成

30年度収支決算書(案)に基づいて報告

ウ 桑原理事 配布資料「会計監査報告書」に基づいて報告

エ 小浦方評議員 ねんりんピック全国大会参加として20万円の支出があったが、事業報告内容としてお聞きしたい

オ 加藤専務理事 ねんりんピック大会は、新潟県の選抜チームとして全国大会並みの位置づけで考えております。社会福祉協議会から大会参加依頼を受けて参加しており、新潟県高齡剣だけの取り組みではなく、新潟県剣道連盟としても自己負担の多い本大会参加者に費用の半分でも補助をしたいとのことで理事会の承認を得て予算付けをしていることを説明

カ 採決 全員一致の挙手で承認

(2) 理事・監事の選任(案)について  
ア 加藤専務理事 配布資料「新役員候補者推薦名簿」に基づいて説明

平成31年3月31日開催の定時理事会に於いて、新役員候補者の評議員会への推薦として、各地区、職域等、会長推薦などから選任された候補者であることを説明

イ 採決 全員一致の挙手で承認

5 報告事項  
平成31年度・令和元年度事業計画について  
加藤専務理事から配布資料に基づいて事業計画を報告

(2) 平成31年度・令和元年度収支決算書について  
荻莊常務理事が配布資料に基づいて報告

(3) 理事・監事候補者以外の役員について他  
加藤専務理事が先に行われた理事会で承認された「名誉会長、相談役、顧問、参与候補者名簿」に基づいて報告

その後、審査員名簿、また級位審査要領改正、平成30年度剣道人口及び少年剣道教室等実態調査結果の報告。さらに新剣連主催大会、講習会などの業務分担等報告

(4) 専門委員会報告  
配布資料「全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会小学生の部」予選会の一本化及び「国体予選会・大将の部出場資格基準」の設定について報告

この後、田沢議長から報告事項についての確認があり、全員拍手で承認

6 その他  
意見・要望について  
10月に村松で「ねんりんピック・壮年剣道大会」を実施するが、開催にあたり細かな指導をお願いしたい趣旨の要望。また、中学生の級位審査についての質疑も行われた

(2) 事務局連絡  
瀬賀事務局長から、事務所の移転について及び事務局の新体制について報告

- 理事 栗原 広幸(豊栄)
- 理事 渡邊 尚久(居合道部会)
- 理事 加藤 治(学校)
- 理事 木村 嘉靖(警察)
- 理事 二平 正司(警察)
- 理事 山本 誠(佐渡市)
- 理事 土田 勉(新潟市)
- 理事 菊池 和雄(新潟市)
- 理事 町田 一越(新潟市)
- 理事 児玉 修(新潟)
- 理事 赤塚 幸(西蒲)
- 理事 田邊 一彦(地藏堂)
- 理事 石川美奈子(五泉市)
- 理事 高橋 憲夫(阿賀野市)
- 理事 信田 正平(村上)
- 理事 中村 淳(三島)
- 理事 渡辺 久雄(長岡)
- 理事 川村 充(三条)
- 理事 根津 勝(十日町)
- 理事 渡邊 清隆(糸魚川)
- 理事 山崎 剛(上越市)
- 理事 渡邊 希一(柏崎)
- 専務理事 加藤 治(学校)
- 常務理事 赤塚 幸(西蒲)
- 監事 小林 健一(長岡)
- 監事 小林 寛(新発田市)
- 副会長 久我 正作(警察)
- 副会長 堀 伊佐緒(新潟市)
- 副会長 斎藤 博司(新発田市)
- 副会長 清水 龍(栃尾)
- 副会長 久保田幸正(上越市)
- 会長 浅原 行雄(白根)

**令和元・2年度役員**

会長・副会長・監事・理事

- 以上

理事 田中 睦夫 (小須戸)  
 理事 遠山 正宣 (警察)  
 名誉会長・顧問・相談役・参与・事務局  
 相談役 清水 勝 (新潟市)  
 相談役 青山 勲 (上越市)  
 相談役 中村 正紀 (西蒲)  
 相談役 若林 秀旭 (五泉市)  
 相談役 五十嵐安夫 (長岡)  
 相談役 草間 純一 (三条)  
 相談役 伊藤 文博 (糸魚川)  
 相談役 帆船 達郎 (五泉市)  
 相談役 萩荘 誠 (亀田)  
 顧問 渡邊 幹雄 (警察)  
 参与 萩荘 則幸 (亀田)  
 参与 八木 和憲 (新潟市)  
 事務局長 瀬賀 忠治 (警察)  
 事務局員 天井 俊明 (五泉市)  
 事務局員 田澤 昇 (白根)  
 事務局員 吉川美津江 (新潟市)  
 事務局員 寺田 清美

剣道 審査員

大濱 克 (上越市)  
 直原 幹 (上越市)  
 高嶋 純一 (上越市)  
 丸山美恵子 (上越市)  
 宮田 和寛 (上越市)  
 岡田 裕 (柏崎)  
 渡邊 希一 (柏崎)  
 細貝 秀幸 (小千谷)  
 渡辺 久雄 (長岡)  
 石澤 聡 (長岡)  
 柴田 直樹 (長岡)  
 上谷 貴洋 (長岡)  
 渡邊 直司 (長岡)  
 鈴木 和彦 (新発田市)

新潟県剣道連盟強化スタッフ

◎強化総括責任者・総監督  
 二平 正司 (強化委員長・理事・警察)  
 ◎副強化総括責任者  
 佐藤 好美 (警察)  
 ◎種別担当  
 成年男子 竹内 知宏 (学剣連)  
 成年女子 石川美奈子 (強化委員会・理事・五泉)  
 少年総括 藤塚 肇  
 (高体連強化部長・五泉高)  
 少年男子 監督 玉虫 一憲 (新潟明訓高)  
 監 督 高野 陽輔 (十日町高)  
 コーチ 木立 快 (東京学館新潟高)  
 少年女子

洪谷 伸一 (新発田市)  
 藤井 紳一 (五泉市)  
 佐藤 治彦 (西蒲)  
 廣川 和男 (新潟市)  
 山田 茂 (新潟市)  
 内野 葉子 (新潟市)  
 藤塚 衛 (新潟市)  
 吉田 仁 (新潟市)  
 高橋 直志 (学校)  
 羽下 文朗 (学校)  
 竹内 知宏 (学校)  
 遠山 正宣 (警察)  
 二平 正司 (警察)  
 佐藤 好美 (警察)  
 山田六治郎 (警察)  
 多田 信弥 (警察)

専門部あいさつ

令和元年度、新体制になりました。統括は専務理事が務めますが委員会が六部門あります。それぞれ委員長にご挨拶を兼ね抱負を述べていただきました。

総務委員長 木村 嘉靖 (警察)

この度の役員改選により、理事及び総務委員長を仰せつかりました警察剣道連盟の木村嘉靖です。

現在の新剣連立ち上げから本年3月末まで事務局長を務めさせていただきました。この間、各加盟団体の皆様からご指導とご協力を頂きましたことをこの書面をお借りして感謝申し上げます。近年、各競技団体役員による独裁的

監督 石井 輝彦 (三条高)  
 コーチ 町田 朋子 (阿賀野高)  
 コーチ 永原 拓己 (六日町高)  
 中学生 山下 晃司 (中体連部長・吉田中)  
 小学生 中村 淳 (強化委員会・理事・三島)  
 ◎強化支援スタッフ  
 成年・小学生 加藤 治 (専務理事・学校)  
 白井 吉満 (長岡剣道会)  
 山田 義雄 (燕市剣連)  
 中嶋 直人 (警察)  
 磴 泰介 (警察)  
 廣瀬 欽一 (警察)  
 内野 葉子 (新潟)

事業・普及委員長 菊池 和雄 (新潟市)

専横や一般会員を無視した勝利至上主義による事業運営等が問題視されております。新剣連は「剣道を愛する多くの会員」のための連盟でなければなりません。私は、この精神を持って各委員会と協力しながら新剣連の事業運営に努めてまいりたいと考えております。宜しくお願い致します。

この度、事業・普及委員長を拝命致しました新潟市連・菊池 和雄と申します。本委員会皆様はじめ、連携を密にとりながら以下のように事業・普及に努めたいと考えております。  
 ・新剣連主催の各種大会について  
 従来のを基本に、より充実した大会の開催実施、すなわち委員、主管団体との意見交換を行い、より良い大会の運営を目指します。  
 ・全剣連・新剣連主催の合同稽古会について  
 合同稽古会については各地区での開催に際し、当委員会委員を通じ、事務局、主管団体と連携し、実のある稽古会となるよう努めます。  
 ・その他、テレビ放映等剣道普及のための必要な事業について

昨年来、前委員長のもと、底辺の拡大等に向けた施策を考えて参りましたが、今後も引き続き委員の皆様、会員の皆様と共に効果的な施策実施に向けた取り組みを始めたいと考えております。

何はともあれ、以上の事業・普及に努めるには、会員の皆様のご協力なくしては前進しませんので何卒ご指導、ご協力を心よりお願い申し上げます。

— 審査・講習委員長 — 遠山 正宣 (警察)

本年度の事業計画で基本方針10項目が示されました。当委員会は、項目(3)の資質向上及び一貫指導体制を確立、各種講習会・県合同稽古会の充実と参加、項目(4)の審判員としての試合運営能力の向上、公認審判員講習会を開催、項目(5)の昇段審査を厳正・かつ公正に実施することなどであります。

また専門委員会規定による担当事業は、①昇段審査会及び審査員選定手続きに関する事、②公認審判員講習に伴う講師の選定、運営及び公認審判員認定等に関する事、③各種講習会の企画、運営に関する事、④全剣連主催及び後援などの講習会への派遣員の推薦などであります。なすべき事の重みを感じております。

メンバーは副委員長、堀伊佐緒氏、委員は、渡邊希一氏、土田勉氏、渡辺久雄氏、栗原弘幸氏の先生方であります。剣道に精通し、識見豊かであります。委員一同、所期の目的を達せられるよう研さん努力致す所存でありますので宜しくお願い申し上げます。

— 強化委員長 — 二平 正司 (警察)

佐藤好美委員長の後任として強化委員

長を担当する事になりました二平正司です。若輩者が大役を仰せつかり恐縮の至りですが微力ながら精一杯取り組んでいきたいと思っております。

本年6月22日、埼玉県の国体女子強化選手が来県し、練習試合をする機会がありました。地力の差はあるものの、埼玉県チームは勝ち負けよりも自分の技を「打ち切る」ことに集中していました。一打、一打に「思い」がこもっていて、思い切りの良さが打突の強さにつながり審判をうならせませす。

我々にすれば取り組むべき課題を教えられたようでした。今年は茨城国体。男子共々精進して行きたいと思えます。

— 居合・杖道委員会 — 渡邊 尚久 (居合道部長)

この度、居合道部代表として理事に任命され新剣連との関わりを持つ事になりましたが、剣道の事は全く分からず戸惑っているところですが何卒宜しくお願い致します。

居合道は、その人個々の考えで取り組むことができます。試合で勝ちたい、体力を維持したい、そして昇段もできればいい、ただただ、上手くなりたい等々、様々です。従って性別、年齢に関係なく楽しむことが出来ます。

ただ言えることは、日本刀の操法を学びながら居合道の理念、礼節は自然に身に就きます。そんな居合道と剣道とうまく融合できればと思っております。任期中、何卒宜しくお願いいたします。

ます。

— 広報委員長 — 信田 正平 (村上)

理事に就任して三年目を迎えました。今期も広報を担当する事になりました。多忙を極める諸先生方、活躍中の選手の方々に原稿を依頼して年二回の会報誌の発行に努めております。

大会 結果報告
その他の大会は
新剣連ホームページを
ご覧下さい

第67回全日本都道府県対抗剣道優勝大会

とき：4月29日

会場：エディオンアリーナ大阪

【先鋒】 神代 メ 馬場

【中堅】 高橋 × 栗山

【大将】 藤塚 × 宮崎

国民体育大会成年男女新潟県予選会
とき：5月26日(日)

れまでご寄稿頂いた皆様方には心より感謝申し上げます。
思いを言葉に発する事や文字を並べて文章にする事は決して楽な作業ではないことは承知しておりますが、今後

▽成年男子の部
会場：長岡市北部体育館

- 【先鋒】 斎藤 拓哉 四段 (警察)
【次鋒】 西野 哲哉 五段 (警察)
【中堅】 廣瀬 欽一 六段 (警察)
【副将】 中嶋 直人 六段 (警察)
【大将】 高橋 直志 八段 (学校)
10月 茨城県で開催の国体へ出場



新会長を迎えて初の予選会

▽成年女子の部

- 【先鋒】 小川 梨々香 三段 (地藏堂)
【中堅】 中嶋 郁子 六段 (学校)
【大将】 田畑 亜希子 六段 (新潟)

8月 北信越国体へ出場。一位通過で10月の本国体茨城へ出場。

第28回新潟県女子剣道選手権大会兼第58回全日本女子剣道選手権大会兼予選

とき：6月9日(日)

会場：高田スポーツセンター

優勝 小川梨々香(地藏堂)

準優勝 植木ひかり(警察)

3位 石澤 望愛(帝京長岡)

3位 本間菜つ海(新潟市)

9月8日(日)、長野市で開催の第58回全日本女子剣道選手権大会に上位二名、小川梨々香選手と植木ひかり選手が出場します。お二人に選手権大会に向けての意気込みをお聞きしました。



— 小川梨々香選手(地藏堂) —

私はこの度、第58回全日本女子剣道選手権大会に出場させて頂くことになりました。昨年に引き続き2度目の出場となります。9月に行われる大会では、日本の女子剣道の中で一番大きな大会に出場できることに感謝の気持ちを持ち、新潟県の代表として、会場で自分の剣道を思い切りしてきました。

います。

また、昨年は一回戦敗退という悔しい結果で終わってしまったので、今年はその悔しさを晴らし、先ずは一試合目、一本、とにかく目の前の相手に集中し、自分の今の持っている力を全て出し切り、悔いの残らない試合にしたいと思っております。一生懸命頑張りますので応援の程、宜しくお願いいたします。

— 植木ひかり選手(警察) —

この度、全日本女子剣道選手権大会に出場できたことは、剣道を通じて知り合うことができた指導者をはじめ、そして皆様のおかげだと思います。これからも剣道が変わることを怖れず、試行錯誤しながら練習し、さらに成長できるように邁進いたします。

終わりに新潟県の代表として全国大会に出場できることを誇りに思い、挑戦者としての覚悟を持ってしっかりと試合に臨みます。応援宜しくお願いいたします。

第41回全日本高齢者武道大会(剣道)

とき：6月3日(月)

会場：日本武道館

▽特組(75歳-79歳)

準優勝 高橋 守(上越市剣道連盟)

▽団体戦(男子) 第3位 新潟県

【先鋒】細貝 秀幸(小千谷)

【次鋒】田澤 昇(白根)

【中堅】遠山 正宣(警察)

【副将】齋藤 篤(新潟市)

【大将】高橋 守(上越市)

第14回全日本都道府県少年剣道予選会

とき：6月30日(日)

会場：亀田総合体育館剣道場

一次リーグ、二次リーグ後左記のように選手決定。

1位 佐藤 愛海(新潟) 6年

2位 恩智 大志(三条) 6年

3位 半戸 保行(三条) 6年

4位 酒井 煌介(栃尾) 5年

5位 金澤 心(新潟) 6年

9月15日(日)大阪で開催の本大会に出場します。

厳しい戦いを制した5名 応援をよろしくお願い致します



第11回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会

とき：令和元年7月13日(土)

会場：日本武道館

1回戦

新潟 2(3) - 2(2) 奈良

(本数勝ち)

【先鋒】石澤 × 細田

【次鋒】小川 × 福井

【中堅】村山 | 寺園

【副将】清水 | 川田

【大将】荒川 × 堀尾

2回戦

新潟 1(1) - 4(5) 愛知

【先鋒】石澤 | 岩坂

【次鋒】小川 | 中村

【中堅】村山 × 志田

【副将】清水 | 今道

【大将】荒川 | 森島

地域通信

越後白根の伝統文化と剣道を楽しむ会

第11回白根少年剣道基本錬成会

警視庁の先生方5名も！

主催 白根剣道連盟

後援 白根剣士会道場

新潟県剣道道場連盟

白井剣士会・大鷲剣士会

白根剣士会道場後援会

【講師の先生方】

副島 孝一 教士七段

後木 浩成 教士七段

権瓶 功泰 教士七段

城 祐司 教士七段

内村 良一 教士七段

(敬省略)

越後白根の伝統文化と剣道を楽しむ会「第11回白根少年剣道基本錬成会」が行われました。6月1日・2日新潟市南区の味方体育館には小中学生合わせて150名が集まりました。初日午前は錬成試合、午後一時半か

らは警視庁剣道指導室教師の先生方 5 名による剣道指導が行われました。まずは本県出身の権瓶功泰先生指導の下、準備運動。その後「座礼」「剣道具」の扱いからご指導頂きました。普段、各地区でも個々に所属の先生方から指導はして頂いてはいるものの、大事なところでは、試合場での立ち振る舞い、特に試合では礼をした後、気が緩む傾向にあること、そしてお相手にしっかりと対峙しているということを意識すれば、試合が引き締まるという。しいては今年の全道連主催の全国大会（県立武道館）でも新潟勢への評価は確かなものとなる旨のお話がありました。

その後、内村先生より基本動作の熱血指導。内村先生といえば、全中（個人・団体）高校総体（個人・団体）を制し剣道界においてはまさにスーパースター。素振りの大切さ、その一振り一振りにまず「気」が入っていることには驚かされた。至ってシンプルなのだが指導の最後に「剣道は（素振り）は誰でもできることを、誰にもできないくらいやるのが大事！」と言われた。この誰でもできることを続けるという根

気と努力が内村選手の座右の銘となっている「一生懸命」なのかもしれない。これは剣道以外でも通じる。高校時代は秀才で学年十位以内をキープしたという。まさに文武両道の人ののだ。

内村先生の全体指導、そして同じく警視庁の先生方を交え、基本稽古、そして指導者元立ちによる少年剣士指導

稽古が始まり、さらに一般の先生も混じって行われました。

最後は警視庁先生方の自筆のサイン色紙のジャンケン争奪戦が始まった。みんな稽古よりも力が入ります（笑）。そして所属ごとに警視庁先生方との集合記念写真撮影会。この時ばかりは保護者の方々もスマホで貴重な瞬間を捉えていました。初日だけの取材になりましたが素晴らしい錬成会でした。



内村先生の指導を目を輝かせて聞き入る子供達

浅原会長にお聞きしました。  
—この白根大会はどんな経緯で始まったのでしょうか？

浅原 今から31年前に、旧潟東村出身の同指導室教師「勝山脩」先生が、同期配属の西山泰弘先生を伴い当会、初代会長巖長平先生の思いに応じ25周年記念大会にお越し頂いたのがきっかけです。そして創立記念大会（5年周期）ごとに警視庁指導室の先生から指導を頂ける錬成会に成長しました。

最初は、出崎忠幸先生、岩佐英範先生、寺地四幸先生の3名をお連れになり、その後、勝山先生の先輩久保克己先生がお越しの際、「白根には世界に誇れる大風合戦があり、そしてこの剣道の錬成会も乗じて根付くといいですね」との発案。「越後白根の伝統文化と剣道を楽しむ会」のネーミングが生まれたわけなんです。



—そういう歴史的な背景があるんですね。昨日、今日生まれたイベントでは無い重さがありますね。子ども達も喜んでますね

浅原 そうなんです。みてください。子供達も朝と比べ背筋が伸び生き生きしてるでしょ？これが原点なんです。だからやめられない（笑）

—浅原会長も笑っておられた。（取材 事務局広報担当 天井俊明）

この錬成会に講師としてお呼びした先生方を次に記します。（招聘順・敬称略）久保克己（範士八段・鹿児島県・故人）、

勝山脩（教士七段・新潟県・故人）、西山泰弘（範士八段・熊本県・故人）、郡山清久（教士七段・鹿児島県）、濱崎満（範士八段・熊本県）、出崎忠幸（教士七段・長崎県）、工藤一夫（教士八段・北海道）、寺地賢一郎（教士八段・鹿児島県）、岩佐英範（教士八段・千葉県）、平尾泰（教士八段・北海道）、寺地四幸（教士八段・鹿児島県）、副島孝一（教士七段・福岡県）、石橋陽平（教士七段・福岡県）、石丸卓（教士七段・香川県）、岩佐紀路（教士七段・千葉県）、後木浩成（教士七段・奈良県）、宇野明彦（教士七段・神奈川県）、小関太郎（教士七段・千葉県）、権瓶功泰（教士七段・新潟県）、櫻井崇晴（教士七段・熊本県）、佐藤範和（教士七段・新潟県）、中田淳（教士七段・千葉県）、原田悟（教士七段・福島県）、松脇伸介（教士七段・兵庫県）、城祐司（教士七段・熊本県）、内村良一（教士七段・熊本県）

### 講習会の報告

第14回県女子剣道講習会の報告  
上越市剣道連盟 丸山美恵子

とき：6月23日(日)  
会場：高田スポーツセンター

（上越市本城町9-50）  
去る6月23日(日)、上越市において講師に新潟県剣道連盟理事、剣道審査員の渡辺久雄先生をお迎えし、第14回女子講習会が開催されました。今回の講習会内容は多くの希望で

「日本剣道形」をお願いしました。当日は昼休みを30分に短縮する程、熱心に講習会が行われました。

渡辺講師は日本剣道形の言葉を分かり易く解説し、剣道実技に例えながら示してくださいました。参加者は日本剣道形に対する理解と認識がそれぞれ、今後の剣道修行に活かされていくことと思います。



講習後の記念撮影

また講師の中で女性が剣道を続ける事の大変さとい

り指導頂きましたが、講習会計画時よりご指導頂いた渡辺講師、参加者の皆様、開催地役員の皆様に御礼を申し上げます。

### 令和元年度「第57回剣道中堅講習会」に参加して

魚沼市剣道連盟 大桃 修司



この度、新潟県剣道連盟の推薦を受け、第57回剣道中堅講習会に参加して参りました。

中核となる剣士の錬成強化と指導力の養成を図ることを目的に、奈良市「ならでん武道場」で6月13日から16日までの4日間行われました。

参加者は各都道府県の推薦により、七段59名、六段2名の計61名で、年齢は上が51歳、下は39歳の参加者で、警察官、公務員といった様々な職種の剣士たちが共同生活を行い、まさに剣道漬けの充実した4日間となりました。

「これは講習会ではなく錬成強化で、内容は厳しいものになるので覚悟を持って。」と最初に講師の先生からお話があり、気持ちがピリッと引き締め、学生の頃のような感覚になりました。

始めの稽古は構え方、姿勢、振りかぶり方、打突動作、剣先の刃え、身体の運用など確認しました。特に振りかぶりは左手を緩めず、頭上で行い、振り下ろしは一本取れるようにとの指導がありました。

内容はスクワット素振り1000本から始まり、正面、左右それぞれ300本、そして跳躍素振り500本を行いました。体力的に辛く、精神的に弱ってきた場面もありましたが、その度に持ち直す気魄が湧いて来た事に私自身も驚きました。全日程を通して4000本以上素振りをを行い、その重要性を確認することができました。指導法では、切り返し、打ち込み稽

古、追い込み稽古、区分稽古、指導稽古と行い、常に「基本」を忘れず取り組むように指導がありました。特に「継ぎ足」をしないことは4日間徹底的に求められました。

審判法では、3人の連携が大切であること、有効打突の要件を理解しておくこと、有効打突にならなかった後の打突を見逃さないこと、審判員の位置取りなど確認することができました。また、大会では審判員の振る舞いについて、多方面から見られている意識を持つことなどのお話がありました。

日本剣道形や基本技稽古法は、刃筋、剣道の理合や打突の機会を習得するのに効果的で、木刀と竹刀は同じ扱い方で行わなければならないことを学びました。

最終日に講師の先生から「苦しいことや、辛いことを乗り越えてこそ何かをつかめる。」というお言葉をいただきました。今回のように集中的に剣道に専念できたことは学生以来で本当に貴重な体験をさせていただきました。今後の剣道修行において、大きな転機になったと感じています。また今回学んだことを日々の少年指導に還元していきたいと思えます。全講師の先生方、全日本剣道連盟の皆様、縁あって同期となった受講生の先生方、そしてこのような機会を与えていただきました新潟県剣道連盟の皆様から感謝申し上げます、本講習会修了の報告とさせていただきます。ありがとうございます。

「苦しいことや、辛いことを乗り越えてこそ何かをつかめる。」というお言葉をいただきました。今回のように集中的に剣道に専念できたことは学生以来で本当に貴重な体験をさせていただきました。今後の剣道修行において、大きな転機になったと感じています。また今回学んだことを日々の少年指導に還元していきたいと思えます。全講師の先生方、全日本剣道連盟の皆様、縁あって同期となった受講生の先生方、そしてこのような機会を与えていただきました新潟県剣道連盟の皆様から感謝申し上げます、本講習会修了の報告とさせていただきます。ありがとうございます。

剣談特別企画  
新潟産まれの  
俊英・逸材  
その1

新潟出身で全国で活躍している選手を四回に分けてご紹介します。選手としての苦悩や、想い出話を紐解いてもらい、剣道修行途中の皆様にも少しでも刺激になればという企画です。

はじめに権瓶功泰選手。坂井輪中の二年生の夏、全中個人戦優勝、そして明訓高校へ進学。一年生から三年連続インターハイ個人戦新潟代表。三年時、インターハイ第3位。全日本大学選手権大会優勝。どれだけスゴイのか。そんな権瓶先生にトップバッターで手記をお願いした次第です。

### 一本の竹刀からの人生観

警視庁教養課剣道指導室 (男子特練コーチ) 権瓶 功泰

「ピー！」っと鳴る、恩師清水勝先生の笛の音に合わせて摺り足から始めた剣道。両親から渡された一本の竹刀で、人生を切り開き、人間形成が成り



今年6月に開かれた、白根少年剣道基本錬成会で指導する権瓶七段

立っていくとは、小学一年生の自分には考えもつかなかった。暑さ寒さに不満も持たず、楽しくてたまらない稽古に無我夢中で通った。試合が大好きで、特に大会前は「優勝するために何をすべきか」常に考えていた。試合に勝っても「明日には明日の勝者がいる。上には上がいる」と両親から聞かされ、勝っても負けてもそこには稽古に明け暮れている自分があった。

当時は、今のように画像や情報がほとんど無く、神宮錬成館、志成館、鳥屋野武道館、少年少女大会の新潟市強化の先生方全ての指導を吸収し、その教示の御蔭で中学二年生で日本一になることができた。

自分でやると決めた事を真正面からやり通したい。それが日本一になる道であると確信した為、文武両道を目指し、その後、父親の指導を受けに新潟明訓高校に進学した。当時の先輩方は、全国選抜三位、学力は学年上位人が多く、見習う点ばかり。稽古はもとより勉強は本当に辛いものであった。BSN大会、県大会、北信越大会では

勝てるがインターハイの舞台では勝てない。三年生の夏は自分を振り返り、努力や練習が足りないんじゃないか？、県外に出たほうが活躍できたんじゃないのか？真剣に考えた。しかし、私の側には、その悩みを解決すべく前述の先生方の助言、稽古での技術指導が力となり、とうとう最終学年で上位に入賞できた。

その後私は、高校時代に果たせなかった夢を追いかけて国士館大学に進学した。当時、新潟を離れる際に新幹線内で頭をよぎることがあった。「東京での活躍を親孝行に代えたい。先生方に認めてもらう剣道を身につける！」今でも上京する際にはあの時決心した思いを更に高ぶらせてしまい、当時と同じ心境になり涙が出そうになる。

新潟駅から燕三条駅の間は、あの日、あの時の想いが込み上げて、しかしそれが今の自分の支えでもある気がするのだ。

大学時代は、一生涯の目標となる範士矢野博士先生に指導を受け、日本一に返り咲いた。そして、より高みを目指して警視庁警察官の職を選択した。

警視庁の剣道は、技術、作法からして今まで習練してきたものより、数段上のレベルであった。選手として良い時も悪い時も沢山あった。人生の全てを賭け、その技術の習得が身を結んだ時、特練の主将として活躍することができた。

今、色々な競技の世界で先生と競技者、また、親と子の関係が、変にアメ

リカナイズされており、確立されたものでなくなってきた。少なからず剣道は、師は師、親は親という事を修練する程に、人間形成を教え、人間として道を外れない道理を教示してくれる。現在、私は警視庁剣道の指導者である。人生を賭けて学んできた全てと新たに修業していることを新潟にも技術を伝承し、機会を与えて頂いた際には、先生方に少しでも恩返しをしたいと思っています。そして子供達に剣道を通して人間形成の尊さ、素晴らしさを伝えていきたい。

10年前の記事になりますが権瓶先生の快挙がつぶさに分かるGOGOが存在します。剣キチさん了解の下ご紹介致します。

華麗に舞った剣士たち(剣キチさん) 最強の兄弟剣士②(権瓶「ご兄弟編」)



編集後記

NHKドキュメンタリー「おんな武士道」剣道八段に挑む女性たち」が6月17日(月)に、再放送が同月29日(出)にあった。

日本最難関試験と知られる剣道八段審査会。女性の合格者はまだいない。今年5月の京都審査会。受審者の一

人、全日本女子二連覇の実績を持つ大阪の元高校教員は20回以上挑戦してきた。課題は「初太刀」となる最初の振り。修練してきた成果を2分間に込める。その不屈の闘志の陰には、20代で出会った宿命のライバルの存在も。新しい時代を開こうとする女性剣士の挑戦の物語、というもの。

より高みを目指す姿に心を打たれた。挑戦し続けることの大切さ、励まし合える友がいることへの感謝……感動した！などと反響も大きく再放送が決まったらしい。

剣を交える時の緊張感のほか、交剣知愛の言葉は出なかったが、そのことも映像で表現され見る人に伝わり心を震わせたようだ。

私は、この番組を見た剣道未経験の職場の人に「良かったよ！」と知らされ、また興味深いタイトルにも惹かれ、再放送のスイッチを入れた。改めて剣道の魅力を確認した。

今、少子化に伴い、剣道人口も減少している。そんな中で、今年12月に県立武道館が開館する。同月22日には道場連盟全国大会が開催される。この武道館から剣道の魅力も発信され剣道ファンが増えることを期待したい。

(謙信公の家来)

新潟県剣道連盟のQRコードです。ご利用ください。

